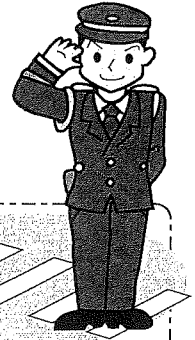




秋の全国交通安全運動について

9月21日(木)～30日(土)の期間で、秋の全国交通安全運動が行われます。普段から注意しなければならないのですが、この期間は特に事故の無いように注意をはらいましょう。また、この運動のために警察の方や地域の方々も要所で指導してくれます。大きな声でしっかりあいさつをしましょう。



通学のルールについて

自転車通学について

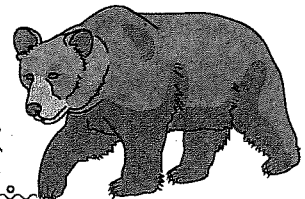
- ①自転車は左側通行を基本とし、並列にならないで通行する。
- ②歩道は歩行者優先を守り、歩道内の車道側を安全に通行する。
- ③交差点(横断歩道あり)では、自転車を降りて一旦停止、安全確認後に押して渡る。
- ④交差点(横断歩道あり)では、一旦停止、安全確認後乗ったまま横断しても良い。

歩行者について

交差点で一時停止して安全を確認して渡る。歩道がある場合は歩道を利用する。

クマにご注意を

9月15日(金)朝に学校裏でクマが確認されました。体長約1mのそこそこ大きなクマです。しばらくの間はできるだけ徒歩通学にならないよう、車での送り迎えをお願いいたします。



クマは雑食と言われますが、基本は草食で、秋の時期はブナの実やドングリ等を多く食べ脂肪を付けて、冬眠に備えます。ブナの実が豊作の年は山奥だけで栄養をとれるのですが、ブナにしてもいつも実を食べられてばかりでは、子孫を増やせません。このためブナは、基本実を毎年不作とし、四年に一度くらい豊作にして子孫を残します(クマなどが食べきれなかった分が芽を出すことができます)。ブナが不作の年は秋口に山奥でのクマの食べ物は少なくなります。そして、栄養を摂るため里に下りてきます。クマの大好きな甘い栗の木や、誰も収穫していない柿の木など、人里には食べ物がいっぱいあります。

クマは賢く警戒心が強く臭いに敏感です。人間の「臭い」がすると、普通のクマは避けたり、逃げたりします。しかし、「臭い」を感じにくいところで人間と出くわす事があります。「臭い」の感じにくいところとは川(沢)沿いです。急に出くわすと突然襲ってくる場合もありますので、釣り等もしばらく控えましょう。

一方、人間に慣れたクマや、猟で仕留め損なって人間の手口を覚えたクマ(手負いのクマとも言います)は逆に人間の裏をかいたり、人間を襲ったりします(一度人の肉の味を覚えると、人食いグマとなります)。

ちょっと涼しくなり、外で過ごす時間も増えてきたのではないのでしょうか。また、一方で冬に備えてクマやイノシシなどの野生獣の行動も活発になってきます。各地でクマの出没情報が出されています。十分注意しましょう。